

飛び立て竹とんぼ先生

地域で竹とんぼ教室を開いてみませんか。東京都三鷹市で生まれた竹とんぼ指導者の輪が、インターネットを駆使して各地のシニア層に広がっている。定年退職を迎える団塊世代の地域参加も後押ししよう。



堀池さん中央から竹とんぼの作り方の説明を受ける参加者。東京都世田谷区の村上小学校で。



子どもたちに作り方を指導する「どこ竹会」の講師。横浜市戸塚区の村上小学校で。

養成講座 ネット駆使で広がり

「どこ竹会」の養成講座は、講師の認定を受け、講師になるための研修を受ける。講師になるには、まず「どこ竹会」の養成講座を受講し、認定を受ける必要がある。講師になるには、まず「どこ竹会」の養成講座を受講し、認定を受ける必要がある。講師になるには、まず「どこ竹会」の養成講座を受講し、認定を受ける必要がある。

「どこ竹会」の養成講座は、講師の認定を受け、講師になるための研修を受ける。講師になるには、まず「どこ竹会」の養成講座を受講し、認定を受ける必要がある。講師になるには、まず「どこ竹会」の養成講座を受講し、認定を受ける必要がある。

「どこ竹会」の養成講座は、講師の認定を受け、講師になるための研修を受ける。講師になるには、まず「どこ竹会」の養成講座を受講し、認定を受ける必要がある。講師になるには、まず「どこ竹会」の養成講座を受講し、認定を受ける必要がある。



「団塊」も地域でイキイキ

ネット活用は徹底している。外にも広がった。講師になりたいたい人は、まず「どこ竹会」の養成講座を受講し、認定を受ける必要がある。講師になるには、まず「どこ竹会」の養成講座を受講し、認定を受ける必要がある。

既に十力所で講師の地域グループが発足。この一年で和歌山県や徳島県など各都府県に、講師は「原則有償」だ。横濱市子

仕上げの色塗りをする児童たち。「おしゅれにして、男の子だけの遊びというイメージを変えたい」＝横浜市戸塚区の村上小学校で

文・石井敬／写真・川北真